

ひとみ つうしん



視覚支援センター

(山形県立山形盲学校内)

令和3年7月発行 第1号

梅雨明けが待ち遠しいこの頃、みなさま、お元気にお過ごしですか？

外に出てみると太陽の日差し、雨音、風、草木のにおい、五感をたくさん使って季節を感じることができますね。雨の日でも、長靴をはいたり、かっぱを着たり、傘をさしたり、水たまりにパシャッと入ってみたり、新しい発見ができそうです。



今回は、見る力を伸ばす遊び、おもちゃについてをテーマにしました。

一般的に子どもは、6歳くらいまでに見る機能を身につけます。この時期に、動く物に合わせて目や身体を動かしたり、遊びの中で様々な物を見たり触ったりして、楽しく自分から見たいという気持ちを育て見る力を高めていくことが大切です。

遊びながら見る力を育むために・・・

毎日の生活の中で大事にしたいこと

- ・見ることの面白さや知る喜びを心から味わえるような経験、働きかけを大事にして、よく触ってじっくり見ようとする気持ちを育みましょう。
- ・よく触ったり音を聴いたり様々な感覚を使いながら、見る体験を豊かにしていきましょう。
- ・はっきりとした色の物、バックの色とのコントラストをつけるなど、より見やすい環境を整えましょう。

遊びながら、目と手の協応や目と身体の協応する力を育みましょう

見えにくいお子さんは、視覚情報の不十分さから手指を使う経験が不足したり、いろいろな身体の動きにぎこちなさがあったりすることがあります。



目と手の協応とは、見て得た情報をもとに手を適切に使うことです。たとえば、びんの小さな口の穴を「小さな穴だな。ここだな。」とよく見て、つまんだビーズをこぼさずに入れたるためには、見る力と手の働きが互いにうまくかみあうことが大切です。

生活の中ではたくさん手指を使う場面があります。小さい頃からの遊びの中で、たたく、握る、つまむ、押す、引っ張る、回す、はめる、なぞる、積むなどの様々な動作に親しむことで、よく見て、思い通りに手指を使って操作ができるようになっていきます。

また、遊びながら様々な運動に親しむことで、目と身体の協応する力が育ちます。たとえば子供たちの大好きなボール遊び。鮮やかな色合いのボールを用意し、ころころと転がし合って遊ぶことで、ボールの動きを目で追ったり、近づいてきたボールに手を伸ばしてキャッチしたりすることを楽しみながら、よく見たり身体をうまく使ったりすることができるようになってきます。少し大き



くなったらお母さんがポンと投げたボールをお子さんがかごを持ってキャッチする遊びはいかがでしょう。風船のようにゆっくりふわりと近づいてくるものもありますし、ボールの大きさや素材によって難しさやワクワク感が様々で、楽しく遊ぶことができます。

おもちゃ選びのポイント

おもちゃで遊ぶことで積極的に手を使うようになり、じっと見る、目で動きを追うなど見る力が育まれ、物や人との関りを広げることができるようになります。

「何だろう」と自分から手を伸ばし遊んでみたいと思うようなおもちゃを選びたいですね。

♠ たたいたり振ったり転がしたりすると音が鳴ったり、光ったりするおもちゃは、変化がわかりやすく「遊んでみたい」、「見てみたい」という気持ちになります。



♥ 色使いがはっきりしている物、絵や文字も大きく分かりやすい物は、「何だろう、見てみよう、触ってみよう」と興味を引き出します。

◆ 動きが緩やかで移動範囲が大きいものは、動きを目で追いやすく、よく見ることにつながります。

★ 玉を穴に落とすと音が鳴ったり転がり出たりするおもちゃなど、自分が働きかけた結果がどうなるのか仕組みがわかりやすいと、「繰り返しやってみたい」と思うでしょう。



おもちゃを作ってみよう

何度見ても面白い手作りおもちゃ

くるくるころりん

(@Hoiclue より)

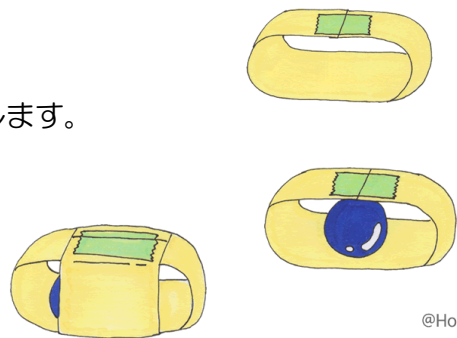
<材料>

画用紙 セロハンテープ ビー玉

<作り方>

- 1 細長い画用紙の両端をセロハンテープでとめ楕円形にします。
- 2 中にビー玉を入れ、落ちないように外側から囲うように画用紙をまきます。

*ビー玉が落ちないように外側をしっかり止めてください。小さいお子さんはビー玉の誤飲に注意。



@Hoiclue ♪

@Hoiclue ♪

<遊び方>

ちょっとした傾斜から手を離して転がすと、ひとりで転がっては起き上がり、また転がっては起き上がりとおもしろい動きを繰り返します。傾斜は身近にあるものを工夫し探したり作ったりしましょう。ダンボール板などでも転がります。坂を黒い布などで覆うと画用紙の色がはっきり見えますし、坂の傾きを緩くすると、ゆっくりころんころんと転がって動きを目で追いやすくなります。お子さんの好きな色の画用紙で作るとお気に入りのくるくるころりんができそうです。「いくよ!」「スタート!」「♪ころころころ」など楽しい言葉かけを添えて遊んでみてください。



@Hoiclue ♪

参考文献

「視覚に障害のある乳幼児の育ちを支える」 猪平眞理

「目の不自由な子の育児百科」 五十嵐信敬

第2回ひとみクラブは、9月15日(水)

第3回ひとみクラブは、11月10日(水)の予定です。